

中島公園 同人誌まつり TALK EVENT!

【文学のいま・これからを問う案内人】（敬称略）



田中 和夫

たなか・かずお 「札幌文学」編集・発行人
1933年、江別市生まれ。江別高校卒業。52年国鉄就職（江別駅勤務）。87年退職（札幌車掌区車掌長）。在職中から明治・大正期の北海道群像を中心にした小説や戯曲、放送脚本を書く。82年小説「残響」で第16回北海道新聞文学賞受賞。



妹尾雄太郎

せのお・ゆうたろう 個人誌「想」発行人
1953年、島根県生まれ。79年より札幌在住。元札幌静修高校教員。89年から97年まで「北方文芸」の＜風見鶏＞欄を担当、12年から15年まで「さっぽろ市民文芸選考委員」として小説部門の選考にあたる。北海道新聞で同人誌月評を執筆している。



寺田 文恵

てらだ・ふみえ 「文学岩見沢の会」編集
事務局長
1950年、岩見沢市生まれ。藤女子短期大学卒業。86年から図書館司書（岩見沢市・旧栗沢町勤務）。92年小説「オート・リバース」（「北方文芸」掲載）で第1回小谷剛文学賞受賞。定年退職後、焼き菓子工房「グランマ・ヨシエ」主宰。



河崎 秋子

かわさき・あきこ 作家・羊飼
い
1979年、根室管内別海町生まれ。北海道学園大学経済学部卒業。ニュージーランドで綿羊飼育技術を1年間学んだ後、実家で酪農従業員をしつつ小説を執筆。2012年「東陬遺事」で第46回北海道新聞文学賞受賞。「颯風の王」で三浦綾子文学賞受賞。

同人誌の現在、 書くことの未来

そして、それでもなお、私たちは書き続ける——道内文学シーン最前線の4人が熱く語る!!



■ とき

2017年

7月9日(日)

14:30-16:00 (開場14:00)

■ ところ

北海道立文学館 地階講堂

■ 申込方法

6月14日(水)より電話で先着順受付
定員60名 入場無料

問い合わせ 011-511-7655

■ 展覧会のご案内

「北海道文学館」創立50周年記念特別展
「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒

2017年7月1日(土)～8月27日(日)

開館時間:9:30～17:00(入場は16:30まで)

休館日:月曜日 7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は振替休館

観覧料:一般500(400)円、高大生250(200)円

()内は10名以上の団体料金、中学生以下、65歳以上無料

中島公園

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

Tel 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp>

施設設置者:北海道教育委員会 指定管理者:公益財団法人北海道文学館*